

令和6年度 学校夢づくりプロジェクト



【学校企画型】

地域の方と協働で「防災教育」に取り組み、
「将来の街づくりの担い手」を育てる基盤を作る

堅田中学校

○概要

「将来の街づくりの担い手」を育てることをテーマとして、地域とのつながりの中で中学生が主体となって取り組める「防災」に関する活動に取り組んだ。実行委員を募集し、11月に実行委員が考案した「防災集会」を実施した。同じく、11月末に3年生が「避難所体験学習」を行った。学校運営協議会委員を中心に、地域住民と協働して実施し、地域の方々ともにかまどを作り、炊き出しを行った。生徒が「防災」について意識を高め、堅田の街を好きになり、「将来の街づくりの担い手」が育つきっかけにすることができた。



【防災集会】

前半は大津市の危機・防災対策課の方に「地震災害に備えて」をテーマに全校生徒に向けて講話をしていただいた。実行委員の生徒が要望していた「南海トラフ」への備えや、堅田の地域の避難場所などについてお話しいただき、生徒は興味を持って聞くことができた。後半は、実行委員の生徒が考えた三択クイズをクラス対抗で行い、防災について楽しく学ぶことができた。

【避難所体験学習】

ブロックでかまどをつくり、炊き出しを行った。事前に、実行委員の生徒が炊き出しのメニューをいくつか考え、生徒の投票でカレーに決定した。また、当日までに、実行委員の生徒と学校運営協議会の委員でかまどづくりの予行も行った。

当日は、まず体育館に集まり、AEDの大切さを学ぶ動画を視聴した。その後、学校運営協議会の委員をはじめとする地域の方の指導や協力を受けて、かまどでの炊き出しづくりを行った。炊き出しのカレーができ上がるまで、学校運営協議会の委員の方に手配いただいた起震車の体験や煙体験を行った。当日の朝と帰りに実施した生徒へのアンケートから、自助・共助の意識が高まったことが分かった。

